

いんふお・おしか

編集・発行：

石巻市牡鹿地区復興応援隊

いんふお・おしか発行室

発行部数：1,500部



歌に合わせて、楽しく運動！

2/14、おしかダンベル会によるダンベル教室が牡鹿地区保育所にて行われました。

手遊びから始まり、可愛らしいダンベルを手に「365歩のマーチ」に合わせて体操し、みんなで楽しく体を動かしました。

03

2017

音楽を通して交流会

2月20日、大原小学校全校児童16名と仙台市立鶴巻小学校4年生65名の交流会が、大原小の体育館にて行われました。この交流会は、宮城学院女子大学の協力によって初めての開催となりました。

各小学校の紹介をした後、山形交響楽団や宮城学院女子大の音楽科関係者による「虹色のシンフォニー演奏会」で、生のクラシック音楽にふれ、児童たちが弦楽器体験にも挑戦しました。



プロの伴奏で校歌斉唱



楽器体験を通して交流も



保護者や地域の方も集まりました



鼓笛隊の演奏

その後、鶴巻小による迫力ある太鼓演奏と、大原小全校児童による鼓笛隊演奏、高学年による威勢のいい獅子振りをそれぞれ披露し、会場が盛り上がりました。

鶴巻小の児童が釘付けになる獅子頭を担当した安藤幸生くんは「鶴巻小学校と交流できて良かった。結構楽しかったです。」と話し、鼓笛隊のリーダーを務めた大壁北斗くんは「初めて会う人たちだけでなく、いろんな曲を聞けたり発表をしたりして楽しかった。」と話していました。

あれから6年 それぞれの思い

3月11日、東日本大震災から6年が経ちます。もう6年、まだ6年。皆さんが抱えるそれぞれの思いを伺いました。

—兄弟のように行き来をしていた人が石巻市街地に移転してしまつた。家は残つて家族と一緒に暮らしているが、とつても寂しくて仕方がない。

《70代女性・大原浜》

—この6年間、できることは何なのか、考えるだけで特別なことはできなかつた。でも頑張ってきたよと自分に言い聞かせている。被災者全員が仮設から出られるのももう少し、そのときは心から皆で喜び合いたい。

《60代女性・鮎川浜》

—毎年3月になると復興の遅れや人口減少、不明者の命日捜索などテレビや新聞などで一日中繰り返し放送されている。そのたび私は亡くなった方々を思い出し、目頭が熱くなつてしまう。さぞ無念であつたろうと思うが、月日が経つにつれ、思い出すことも少なくなつてしまつた。

《60代男性・鮎川浜》

—震災を忘れることはもちろんできないけれど、海も魚も以前のように戻りつつあるので、前向きな気持ちで日々過ごしています。

《40代女性・新山浜》

—土木建築関係の仕事を営んでいる。震災後はただただ忙しさが増しただけ。

《70代女性・大原浜》

半島サロン活動

あゆかわ編

2月17日、鮎川浜湊川団地にて食事が開かれました。

今年度1年間の活動を振り返り、春以降の催しについて話し合った

後、三味線に合わせて民謡を歌い、タラ鍋をみんなで楽しめました。

毎月第3金曜日に開かれているこの食事は、仮設団地住民を中心に手作りの昼食を囲み、近隣住民も集まって和やかな交流の場となっています。

仮設団地の集約に向けて、湊川団地の入居期限が3月末のため、



旬のタラ鍋を囲んで

湊川団地での食事は3月で最後となります。

参加している住民からは「毎月1回の集まりなので、みんなに会えることを楽しみに来ている」と、可能な限り食事を継続していきたいという声がありました。4月からは移転先の鬼形山団地にて開かれる予定です。

仮設団地集約時期一覧

H28.9 期限 (3団地)

- 大原浜中田
- 給分浜小寺
- 小淵浜大宝

H29.3 期限 (7団地)

- 清水田浜
- 十八成浜
- 鮎川浜寺前
- 鮎川浜四ツ小谷第1
- 鮎川浜四ツ小谷第2
- 鮎川小学校
- 鮎川浜湊川

H29.9 期限 (2団地)

- 前網浜赤島
- 寄磯浜五梅沢

H30.3 期限 (1 団地)

- 鮎川浜清崎山運動公園

H30.9 期限 (5団地)

- 大原
- 給分浜後山
- 給分浜桜畑
- 鬼形山
- 清崎山



様々な企画案が出ました

石巻市では、仮設団地の期限を設置から7年までとしていることから、原則として供与期限は平成30年度末となっています。



大きな声で民謡を

牡鹿地区では、5カ所(大原、給分浜後山、給分浜桜畑、鬼形山、清崎山)の仮設団地に集約されていく予定です。平成30年9月末には、牡鹿地区内すべての仮設団地が長年の役目を終えます。

2/3 牡鹿地区ボランティア研修会

金

主催：石巻市社会福祉協議会牡鹿支所



講話後に行われた活発な質疑

清優館にてボランティア研修会が行われ、東北学院大の本間照雄先生による「ボランティアと地域福祉」についての講話がありました。

本間先生は、ボランティアは「お互いさま」の思いがあれば、誰もが始められるものだと思います。

また、日常では特に何もしない近所の見守りであっても、いつもと違う様子に気づいたとき、行政や周りの人に知らせることが立派なボランティアになるという話がありました。

2/7 そば打ち教室

火

主催：石巻市牡鹿稲井商工会女性部

牡鹿稲井商工会女性部の依頼で、東北電力女川原子力発電所地域総合事務所のそば打ち教室が開かれました。講師の山本浩則さんから、粉の混ぜ合わせ方やそばを細く切るコツなどを学び、コシのある手打ちそばに参加者は大満足の様子でした。



和気あいあいとした雰囲気

浜のお祭り

2月

大原浜

三熊野神社



御神木に願いを込めて

2月11日、大原浜にて「御神木祭」が行われました。宮司によって御神木に大漁や町内繁栄などの文字が書かれ、祈願しました。

鮮やかな山車に御神木が固定され、大勢で綱を引きながら復興住宅をはじめ、集落内を練り歩きました。紅白の餅まきもあり、大いに賑わいました。

震災後、引き手となる住民が少なくなりましたが、離れて暮らしている方や、交流が続いている大崎の方々などが参加され、ともに祭りを盛り上げました。



力を合わせて山車を引く

3/18 Reborn-Art Festival 2017

(土)

牡鹿地域住民説明会のお知らせ



今年7月22日から9月10日までの51日間にわたり、牡鹿半島を主な会場とする「Reborn-Art Festival (リボーンアートフェスティバル)2017」が開催されます。

住民向けイベントや作品の概要、事業の進捗状況などの説明が行われます。牡鹿地域住民や転居されたお知り合いの方もお誘い合わせの上、ご参加ください。

【開催日時】3/18(土) 13:30～15:00頃

【開催場所】牡鹿保健福祉センター「清優館」

Reborn-Art Festival 事務局 ☎0225-90-4726

編集後記

春。出会いと別れの季節になりました。これまでの出会いとこれからの出会い、一つ一つを大切にしながら制作していきたいと思います。来月は増刊号を発行予定です。現在、発行室を挙げて制作に取り掛かっていますので、お楽しみに!!

